

発行/那覇市水道局  
所在地/那覇市寄宮2丁目32番1号  
TEL/098-832-4172



1995 創刊号



- 発刊にあたって/機構図/健全な水道事業の経営をめざして……2・3
- 真地配水池が完成……4・5
- 味・水を語る……6・7
- 水から生まれる美味探訪/パイプライン/表紙写真について/題字について/編集便り……8

国ダム



県ダム



10月16日末現在貯水率

給水人口(平成7年8月末現在)  
(水道の普及人口)

298,732人





那覇市水道事業管理者  
仲 間 英 三

## 発刊にあたって

水道は、市民の快適な暮らしや産業等の諸都市活動を支える大切な施設です。

この水道が、本市で産声をあげたのが昭和八年のことで、以来六十年余の歳月を積み重ねてまいりました。

この間、戦災による壊滅的な打撃を受け、その中で辛うじて戦禍を免れた一部の施設や泊浄水場等を活用し再開を図ることを足掛かりに、今日では市内全域隈なく水道が整備され、給水人口約三十万人、普及率九九・九％を達成いたしました。

しかし、将来とも安定した安心できる美味しい水道水を供給するためには、クリアーすべき課題が山積しております。

漏水防止等のため老朽化した水

道管等を更新すること、新たな需要に應える施設の建設、さらに濁水や災害時でも飲料水はもとより生活維持のため水を供給するライフラインとしての使命を全うできる施設能力を確保すること等々です。

これらの事業を進めるための資金は、国庫補助金、企業債（借入金）となっておりませんが、借入金の支払いには水道使用者に収めていただいている水道料金を充てることとなります。

また、浄水の購入、給水のための費用、諸経費も料金で賄われています。

水道局はこれらの経費節減に努め、水道使用者の負担をできるだけ軽くするために、事務の能率的な執行と事業運営の効率化を推進しており、併せて一層の給水サービスの向上を図ってまいります。

創刊にあたっては、水道についての情報をできるだけ多く提供し、水道使用者とのコミュニケーションを密にすることにより、本誌を市民参加による事業運営と快適な水道づくりに役立てるよう心掛けてまいります。

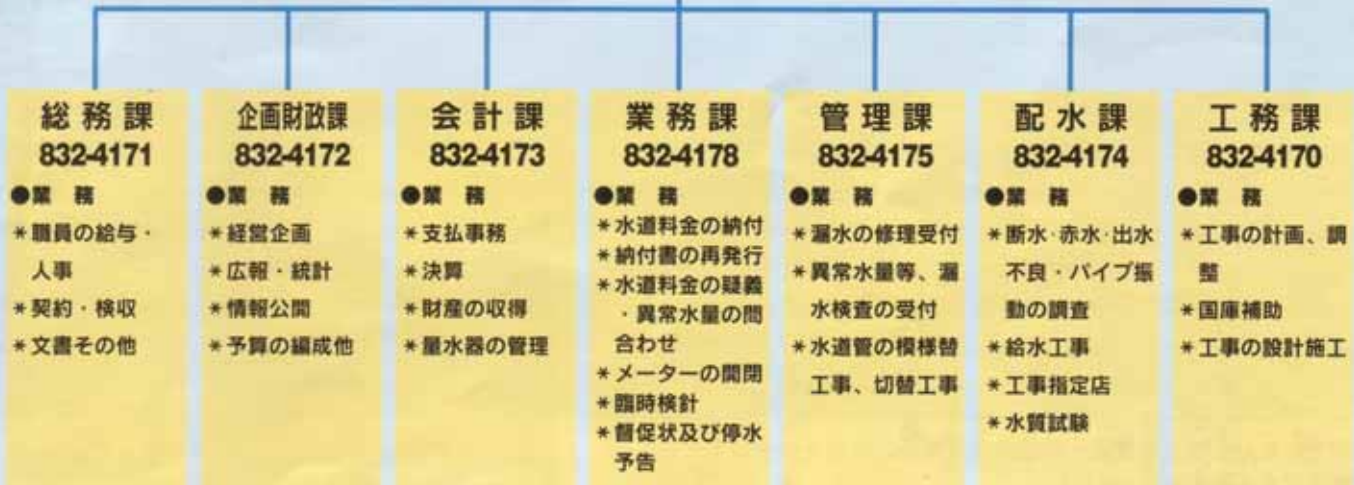
市民各位のご指導ご支援を心からお願いいたします。

## 水道局組織機構図

水道事業管理者

水道部長

水道部次長

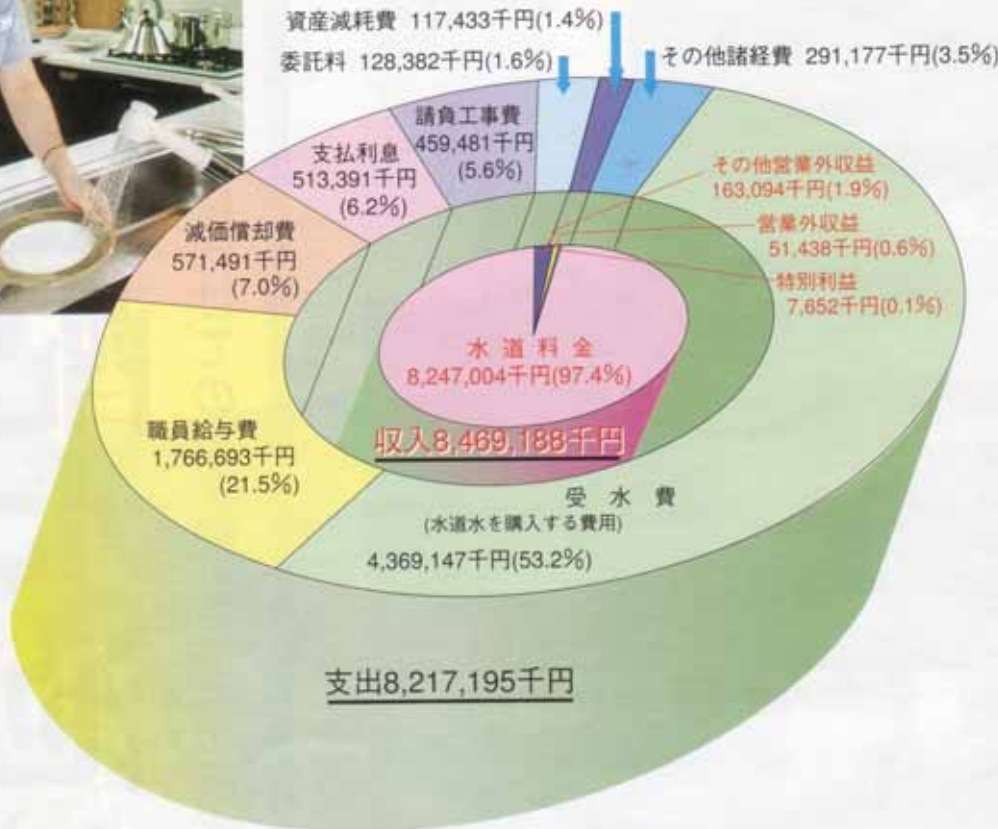




# 健全な水道事業の 経営をめざして



## ★平成6年度の収支状況 (消費税めぎ)



水道事業の運営は、水道料金収入で賄われております。昨年度は二千万円余の利益を計上して、累積赤字の一部を解消しました。とは言え、まだ累積赤字が七億七千万円残っていますので、より一層の経費節減や経営の効率化を図ってまいります。左記の円グラフは、平成六年度の決算見込みの収支を表わしたものであります。尚、建設投資は円グラフ以外の別途収支で支出約二十億円となっておりますが、収入は国庫補助金と企業債で約十五億円、残りの額は出資金、工事負担金、自己資金を充てております。水道事業の財政状況についてのご理解をお願いします。

## ★皆さまにお支払いいただく水道料金で支えられている水道事業

安全でおいしい水を安定してお届けするためには、膨大な経費がかかります。

水道事業は、皆様にお支払いいただく水道料金によって支えられています。



### ●事業のしくみ







真地配水池（内径26.5m、水深6.0m、有効容量3,300m<sup>3</sup>）



真地配水池からの給水区域を含む市街地の眺望

# 真地配水池が完成

21世紀に向けての識名配水系統の給水計画をほぼ達成

## 那覇市水道の配水系統

本市では、平成十二年度を目標年度として、計画給水人口三十二万人、計画一日最大給水量一五九、八〇〇m<sup>3</sup>の安定給水を図るため、給水地点と地形を勘案して給水区域を十の配水系統に区分し、送・配水管の整備拡充を推進しています。

今回、十二億二百二十六万円余をかけて完成を見た真地配水池は、そのうちのひとつ識名配水系統に位置づけられています。

## 識名配水系統の概要

識名配水系統は、標高三十mから一〇二mまでの識名、真地、繁多川、上間、長田及び仲井真等の区域に給水しています。

この系統の受水は、県企



那覇市水道施設及び配水系統図

凡例	
○	市町村境界
●	指定水道施設
○	配水
●	ポンプ場(400m <sup>2</sup> 以上)
●	受水メーター
○	石橋
○	白
○	新田
○	石橋・新田
○	上
○	真玉橋
○	豊見城
○	大



記念植樹 (水道局長 仲間英三)



眞地配水池落成式典テープカット



記念植樹 (那覇市長 親泊康晴)

業局の前田第二調整池から上間調整池への送水管から分岐して自然流下により三基の配水池でなされています。既設の上識名配水池、下識名配水池に今回完成した眞地配水池で受水された総容量六、三五〇m<sup>3</sup>の浄水がこの地域に給水されています。





刊によせて――

# を語る



那覇市長

## 親泊康晴



行政とは？  
この問い掛けに、こう答えることがあります。  
「今朝、貴方は洗面のために蛇口をひねったでしょう。すると清浄な水が当たり前に掌を一杯にしてくれた。この水を届けているのも、行政です。」（親泊市長）

### 水道水のおいしさ、今昔

**市長** 市の行政で、すべての市民の最も身近にあるものの一つが水道行政と言えます。今では、水と言えは水道水のことだと言えるほど高い普及率となっています。

そこで、今日は、この水と先生がご専門になさってます料理との係わりで、ご提言を含めてお話をいただきながら進めたいと思います。

ところで、九月に入ってもまだまだ日差しが厳しく暑い日が続いていますが、お疲れはありませんか。どうぞ、お話しに入る前にお手元のお冷やを空けて下さい。

**新島** 同じ水道の水でも昔の水と今では随分違うような気がします。

**市長** 今の水は、はるかにおいしいでしょう。

**新島** そうです、そのとおりですね。

**市長** 今では、おいしい水を給水するためにブレンドしていますから、市内等しく北部のおいしい水の恩恵を受けております。

先日、北部で行われた会議でペットボトル入りの名護の水を飲む機会がありました。が、ほんとにおいしい水だと思いました。

その水が、時間と経費を掛けて水道水として、那覇市民に届けられている訳ですから有難いことです。

### 水についての思い出

**新島** 私は、八歳まで首里で育ちましたが、その当時の水についての思い出と言えば、屋敷内にあつた井戸から大人がつるべで水を汲み上げて台所の水瓶に運んでいたことで

す。

子ども心にも「大変な仕事だなあ」と思ったものです。

ただ、今でも、ふっと考えたりするんですが、お風呂のことは覚えていません、どうしていたんでしょうね。

**市長** 私の家族は五男一女で、男の多い世帯でしたが、お風呂と言えは、殆どが井戸端で水をしていました。

おふくろは、たぶん暗くなつてから浴びていたと思います。

学生のころ柔道をしておりましたが、一汗かいた後に浴びた水の爽快さは今でもハッキリ覚えています。

屋敷内にクルマガアがあつて水について難儀した記憶はありません。水量も、私の生まれ育つた泊は豊富でした。

隣には、ラムネ工場もありましたし、そこでポンプつきの井戸で片手で柄を動かしながら、顔じゅうに浴びて飲んだ

クルマガア

水の味も忘れがたいものです。

### 水道水との出会い

**市長** 蛇口をひねれば水が出る水道は、泊小学校にありました。

このように便利でハイカラなものは、学校だけで当たり前と思っていました。

**新島** 私は、小学校の四カ年を東京で過ごしました。昭和三年の東京は、水道が家庭にも普及していましたので、当たり前のように水道水を使っていました。

つい最近、海外に旅行する機会がありまして、水について貴重な体験をしました。生水は絶対飲まないようにとの注意が何度もありました。それは下痢を起す水質であるからとのことでした。

次に、宿泊したホテルは立派な建物でしたが、入浴に不自由しました。先に入浴した人はよかったです。二人目からは、水圧が弱くなったのでしょつか、お湯が溜まらず色がついた水が出たりして、入れない状態で困りました。

日本の水道の水準の高



# 味・水



沖縄調理師専門学校長

## 新島正子

さをあらためて有難く思いました。

今年のはじめ粟国島に行つた時のことです。

民宿でのバスの湯水が、豊富なのに驚きました。尋ねますと、粟国島では、海水淡水化装置が村に整備され、水には不自由していませんとのことでした。

島嶼県の沖縄にとつては、海水も水資源の一翼を担っていることが良く分り、他の水資源に頼れない離島の観光振興にも欠かせない大切なこと



だと思いました。

### 料理の隠れた主役の水

**新島** 毎日何気なく飲んでい

料理と水も、切っても切り離せない関係があります。おいしい料理や飲み物も、いい水があつてこそ作れるもので、水はむしろ主役とも言えるほど、料理に影響を与えています。

米を炊く時も、米をていねいに水洗いし、水に浸してから炊くとおいしいご飯ができますし、野菜のアク抜きも、水なくしてはできません。このように、水はふしぎな力を持っています。那覇の水が、まだ硬度の高

い水道水に頼っていた頃、本土から有名な料理の先生が来られ、和食の講習会が開かれました。その先生曰く、沖縄の水では、あの澄んだ日本のお吸物の味が出ないと言われ、成程と思いました。

豚だしやかつおだしを濃くとり、実たくさんの汁物や煮物、イリチーなど味クーターの料理をたくさん生み出しました。このような調理法は、硬度の高かった沖縄の水にも合っていたと思われま

### 二十一世紀の那覇市の水道

**市長** 最後に那覇市のめざす二十一世紀の水道についてご説明申し上げます、先生からもご

目をいただきましたと思います。

基本的には、三つの方針を柱に据えて、その達成に向けて具体的施策を展開します。

一つ目は、「すべての市民が利用可能な水道」です。

整備が進む天久新都心地区をはじめ、二十一世紀に向けてたまちづくりのなかで、水道の整備も並行して進める

こと、平たく言えば、市内に住居を構えると即水道水の供給が受けられると言うことで

す。

二つ目は、「安定性の高い水道」をめざすと言うことで

す。

これは、需要増に備えた水の確保と今回の阪神大震災を教訓に災害に強い施設の整備を図ることです。

これは、需要増に備えた水の確保と今回の阪神大震災を教訓に災害に強い施設の整備を図ることです。

これは、需要増に備えた水の確保と今回の阪神大震災を教訓に災害に強い施設の整備を図ることです。

これは、需要増に備えた水の確保と今回の阪神大震災を教訓に災害に強い施設の整備を図ることです。

これは、需要増に備えた水の確保と今回の阪神大震災を教訓に災害に強い施設の整備を図ることです。

これは、需要増に備えた水の確保と今回の阪神大震災を教訓に災害に強い施設の整備を図ることです。

これは、需要増に備えた水の確保と今回の阪神大震災を教訓に災害に強い施設の整備を図ることです。

これは、需要増に備えた水の確保と今回の阪神大震災を教訓に災害に強い施設の整備を図ることです。

これは、需要増に備えた水の確保と今回の阪神大震災を教訓に災害に強い施設の整備を図ることです。

水源開発については、国と県がダムの建設を進めておりますが、お世話になつて自治体としてバックアップを強力に進めることです。

あわせて、老朽化した管路の更新と配水池容量のレベルアップによる、緊急時給水拠点の確保です。

三つ目は、「安全な水道」です。

市民がいつでも不安を抱くことなく、安心して水道を利用できるような水道の水質確保のための施設整備の促進で、既に北谷浄水場において、高度浄水処理施設が稼働しております。市の水質試験もより徹底いたします。

これらの施策がより充実されますと、那覇市民に、いつでもどこでも、安全でおいしい水が供給出来る二十一世紀の「高水準な水道」ができあがります。

**新島** 市長からご説明いただいた二十一世紀に向けた水道行政を市民のためにしっかりと進めていただきたいと思

います。

いつでも蛇口をひねると清浄なおいしい水がほとばしる、断水のない水道でゆたかな市民生活の実現をお願いいたします。

いつでも蛇口をひねると清浄なおいしい水がほとばしる、断水のない水道でゆたかな市民生活の実現をお願いいたします。

いつでも蛇口をひねると清浄なおいしい水がほとばしる、断水のない水道でゆたかな市民生活の実現をお願いいたします。

いつでも蛇口をひねると清浄なおいしい水がほとばしる、断水のない水道でゆたかな市民生活の実現をお願いいたします。

いつでも蛇口をひねると清浄なおいしい水がほとばしる、断水のない水道でゆたかな市民生活の実現をお願いいたします。

いつでも蛇口をひねると清浄なおいしい水がほとばしる、断水のない水道でゆたかな市民生活の実現をお願いいたします。

いつでも蛇口をひねると清浄なおいしい水がほとばしる、断水のない水道でゆたかな市民生活の実現をお願いいたします。

いつでも蛇口をひねると清浄なおいしい水がほとばしる、断水のない水道でゆたかな市民生活の実現をお願いいたします。

いつでも蛇口をひねると清浄なおいしい水がほとばしる、断水のない水道でゆたかな市民生活の実現をお願いいたします。

いつでも蛇口をひねると清浄なおいしい水がほとばしる、断水のない水道でゆたかな市民生活の実現をお願いいたします。

↑漢那ダム



旧真和志村の東、島尻方面が一望できる高台に豆腐造りが盛んな字上間があります。

自治会長大城良昌さん（六二）にお願いして、手作り豆腐のころからこの道一筋の嘉数清市さん（六二）を紹介してもらいました。

嘉数さんは、約半世紀二代に亘り豆腐製造を生業として、今では毎日二百三十丁の豆腐を市場に出しています。

今回は、その嘉数

さんに「昔井戸水、今水道水」と生活・産業用水が井戸水から水道水に変遷する過程で、伝統の味を守りながら豆腐造りに取り組んだ苦労話をうかがいました。

## 「苦労した井戸水のころ」

水道水のないころは、生活用水の確保が大変でした。

そういう意味では、日々

の生活と生産を支えるムラガー（村の井戸）とその周辺は貴重な水源として村人から崇められ聖域として大事に守られていました。

ムラガーとの距離が遠い家の子にとって、受持ち仕事のなかで一番辛いのはカタミヤ一棒（天秤棒）の両端にカンカンター

グを吊り下げて往復する水汲みでした。まして、大量の水を必要とす



## 「水道水の安定供給と豆腐造り」

四十年余にわたり豆腐造りに助んでこられた嘉数豆腐屋さんを、水道の普及はたしかにムラガーからの難儀な水汲み仕事から開放してくれました。

しかし、「長年慣れ親しんだ井戸水との別れと水を選ぶ豆腐が、果して水道の水でも美味しい独特の風味を維持することが出来るか不安でした。」

やはり心配したとおり水質の違いから不出来の日々が続いた。豆腐造りへの情熱と粘り強い研究心から試行錯誤の末この難

関を克服し、いまでは、井戸水のころに負けない美味しい豆腐をお得意さんに出しています。



「水道布設後のムラガー」あのムラガーは、今でも水量豊富で、昔に雑用水として重用されています。（大城自治会長談）

る豆腐造りの水の確保は、大人でも大変な難儀仕事でしたが、救いと言えば、ムラガーの水が豆腐造りに最適だったということです。

豆腐は水を選ぶので相性の良い水でしか美味しい味の豆腐は生まれません。

「ナードで豆腐造りをしていた頃には考えられなかった機械化による量産も出来るようになりました。」

現在、家業の豆腐造りは息子さん夫婦と娘さんが引き継ぎ、美味しい豆腐造りに朝早くから精をだす日々とのことでした。

## パイプライン

このページは次号から水道使用者と水道局とのお知らせコーナーとします。投稿等皆様のご活用をお待ちしております。

水道水はこのラインを通って市内限なく供給されております。その総延長は七百キロにおよび市域の地下に一大パイプライン網を形成しています。別名ライプラインと称されるこの管路を通しての結びつきの延長としてこのコーナーが次号から皆様と水道局のパイプ役を務めます。

## 編集便り

☆「すいどう」創刊号の発行に当たり、局内編集会議を開催し、市民に知ってもらいたいことについて「わいわいがやがや」と話し合うと、

漏水の際の連絡先  
料金の口座振替  
水質試験場の紹介  
予算、決算

等々多岐の分野に多彩な提案が噴出したが、どうしても、これだけは、是非知ってもらいたいとの最大公約数は、水道局庁舎の所在地であった。

## ●表紙写真について

「国指定文化財 名勝 識名園」 識名園は、千八百年（尚温七年）尚温王時代のころ造園されたもので、旧琉球王家の別邸であった。十一月一日開園予定となっております。写真は、六角堂である。

## ●題字について

「すいどう」の文字は、那覇市内の地下を隈なく通っている水道の管路網を示し、「なは」は、那覇の都市像「あけもどろの花」を「はな」とイメージして、育み、花さかせを届ける水道を現した。



真和志水道局庁舎・知名度としては、真和志支所が上である。